

令和２年度 第２回 高石市行政計画審議会 議事録

【開催日時】 令和２年１１月１１日（水） 午前１０時３０分から開催

【開催場所】 高石市役所 別館３階 会議室３１１、３１２

【出席委員】 委員１６名中１４名の委員が出席され開催した。

日野 泰雄	畠中 宗一	槇村 久子
永山 誠	久保田和典	森 博英
清水 明治	東口 正一	西村 陽子
中平 正子	山内 和彦	藤田 政明
石原 誠之	羽間 靖志	

（以上委員１４名）

【欠席委員】 東野 隆史 田中三和子

【傍聴者】 なし

【日 程】 議案第１号 議事録の署名人について
報告第１号 第５次高石市総合計画の策定について

【確認事項】 議事録署名人は、会長の指名により会長を除く出席委員の中から五十音順で２名を指名することとし、本日の議事録署名人には石原委員と久保田委員が指名された。

【質疑応答】 報告第１号 第５次高石市総合計画の策定について

（会 長）第４次までの総合計画で、基本的な都市目標は変わらないが、第５次の計画策定に際しては、第４次の総合計画はどうだったかという評価をしないといけない。今回の資料では、内部評価が一番に来ていて、続いて市民意識調査、関係団体の意見があるが、総合的に第４次の計画を評価し、それを踏まえ、今後やるべきことは何かというようなストーリーを示すと、パブコメの際にも市民の皆さんに分かりやすいと思うが、それは可能か。

（事務局）資料について検討し、お示ししたうえでご審議いただきたい。

（会 長）行政としてはきっちり取り組んだが、市民の満足度が低いのなら、次の計画に組み

込む必要がある。また、ある程度達成した施策については、継続するもよし、選択と集中により優先度を下げるという考え方もあるかもしれない。そのあたりが分かる資料を各委員に見て頂くとよいと思う。

もう一つは、基本目標の部分だが、少子高齢化の進行とあり、全部ネガティブな表現になっている。老齢学会等でも言われているように、今の高齢者の定義を変えていかないといけない。何もかもが医療や介護ということに特化してしまっている。例えば、現在の高齢者の定義で高齢者の比率が4割になったとき、全員生産力もなく、活動力もないと考えると、子どもを除いた活動できる世代がものすごく少なくなってしまうことになる。それでは都市が成り立たない。高齢世代の多くの方は、まだまだ生産力もあれば、活動力もあるという、そういう力をもっと前に出さないといけないのではないか。人口の数値より中身が問題であり、高齢者は除外することになると、まちの活性化とか活力は考えにくい。だから、そういうことをもう少し次の計画の中に表現したほうがいい。全体としてネガティブで、その後ろに出てくるまちづくり目標2でも、医療、介護、地域包括というような表現が目につく。もう少し元気になるような表現を出せないかと思うので、検討いただきたいと思う。

(委員) 基本的に私も同感。既存の施策の枠の延長線上で議論するのか、あるいは社会の大きな変化や変動を見据えて議論するのか。例えば、高齢者だと終活という概念があるが、今はそれに対して老活という高齢期をポジティブに議論していこうという議論がある。そういうもう少し展望を持った議論の仕方というのはあり得ると思うし、そうすべきだと思う。

(委員) 私もこの資料だけではなかなか判断しにくい。これから資料を示していただけるといことなので、詳細なデータを見たほうがよいと思う。

大きな枠組みですが、これからの10年というのは非常に変化のある時期だと思う一方で、資料を見ると第4次から引き続いているという感じがある。少子高齢化、人口減少はとても大きな変化で、これまでなら生産年齢人口は16歳から64歳だが、今は65歳以上も活動していただかないといけない世代に入っている。

同時に、生産年齢人口の中で、今、共働き世帯が増えている。ダイバーシティ、多様な人が働いて地域を支えるというような方向なので、高石の中の世帯でどれぐらい働いているのか、基本理念の「育み」というのは子育てだけではなく、子育て世帯を支えるという観点のほう幅広く政策ができると思う。

もう一つは、今コロナで外国から入ってくる方は少ないと思うが、高石は空港まで鉄道が行っており、コンパクトであり、利便性が高い。また、外国の方とも一緒に暮らす時代に今後なっていくと思うので、高石に住む人、働く人の概念や、子育ての概念が少し変わってくるかと思う。私はすごく価値が高い都市だと思う。少し違

った観点で高石の価値を倍増するイメージが表現できればいいと思う。

(会 長) 高石市の総合戦略でも、子育て支援の施策の評価がかなり高い。ところが、市民の意識調査では、重要だが満足度が低い施策があったり、学校教育の施策もそうだが、少し満足度が低かったりする。せっかく高石の一つの売りで、総合戦略の中でも評価が高いのに、もったいないと思う。今回も「担い手」というのは子供だけではなく、まちづくりを行う人の担い手も必要で、起業などを支援する人たちの担い手も育てないといけない。そういうことがあって、総合戦略でも市民の人材バンクを早く作ってと言いつけている。看護師や介護士その他の資格を持ちながら仕事をしていない方、もちろんリタイアした後、仕事を持っていない方もいるので、そういう人材をもっと有効活用するといいし、その人たちを中心にいろんな人材を育てていけばいいと思う。そういう意味で担い手の中の一つとしてそういうものが入っているといい。事務局は横軸と言っているが、もう少し目に見える形で表現できると思う。

もう一つは、子育てのところで、高石が人のライフステージの中でどういう人たちをメインにサービスをしていくのかというときに、そのライフステージの中で子育て世代がターゲットになっていて、転入も期待したい中で、今まちづくり目標の1番に掲げていただいているが、これに関して何かご意見はないか。

(委 員) いろんな主体が参加してというコンセプトが書かれていると思うが、抽象的に言うだけでなく、実際に参加しようという方が参加できる仕組み、先ほど人材バンクと言っていたが、参加してくれる可能性のある団体や人たちがいて、その人たちがどういうふうに参加するのか、もう少し具体的なイメージが出てきたらいいと思う。

(委 員) 社会経済動向の流れなどは今非常に注目を浴びているところを捉えていると思う。その上で、大きな視点を高石市の取り組みに落としたときに具体的にどうなるのか、市民の暮らしにいかにフィットさせていくかが大事になると思う。全体的な結果をそのまま全世帯に当てはめてしまうのではなく、各世代の感性をそれぞれの事業に落とし込むときに合わせていくことが必要だと思う。本件の内容としては非常にいいと思うが、今後基本計画を作成するに当たってはそういうところをきめ細やかに検討して進めて言ってほしい。

(事務局) 子育て世帯に対する施策、社会貢献するための施策、世代や性別等により必要な施策は異なるという認識はある。しかし、これまで力を入れてきた施策も市民の満足度が思ったほど高くないことについては、いただいたご意見を参考に、見直し等が必要と考える。他の施策についても、ご意見をいただき反映していきたいと考える。

(委 員) アンケートでは安心・安全の関心が高いので、治安維持を担う高石警察署として、現状と今後の警察としての取組について、若干お話ししたいと思う。

安まちメールというものを警察で推奨しており、今後も増やしていきたい。また、

防犯カメラも増設を働きかけていきたい。さらに、ユーチューブの府警の公式チャンネル、高石警察署もホームページを立ち上げており、SNS等でも情報提供をしていきたいと思っている。

また、南海トラフ地震とか津波関係についても、市、消防、その他関係団体、臨海工業地帯の企業とも連携しており、今後も情報共有と訓練等の連携強化を進めていきたい。

(委員) これからの10年を描く中で、課題が従来とは違ってきていると思う。例えば、コロナでみんなの生活の仕方、新しい生活様式などが出てきており、自然災害においても、従来とは違って非常に厳しいものがある。それから、国際社会でのSDGsの動きなどいろいろ出てきていると思う。その中で大事なのは少子高齢化にどう対応するか。資料の基本構想は、基本的には理解するが、コロナに対してはどういうふうな形でスタンスを表していくのか、大きな社会の動きの中で市としてのスタンスというようなものをもう少し個々の計画とか施策では、これから落とし込んでいくと思うが、その辺りのメリ張りが必要だと思う。

(事務局) 感染症対策や最近出てきた課題については、市としての方針は必要と考える。ただ、10年間の計画ということもあり、この1、2年の対策がどの程度まで表現できるかは、現時点では言えないが、市としての考え方を書き切れる限りは書いていきたい。10年間を見据えた計画なので、大阪府としてできること、市町村としてすべきことの棲み分けも踏まえ、書ける部分については総合計画に記載していきたい。

(委員) この時期に新しい総合計画をこれからの10年を目指して作るというときの作り方は、注目されると思う。

(会長) これからの10年はすごく変わる。いろんな事が変わってくるので新しい見方として市の総合計画として何か特色を出せないかということも含めて意見をいただいたということにしたい。

(委員) 目標4の「魅力と活力あふれる人を惹きつけるまち」について、我々の一丁目一番地は経済発展、商業の発展、経済の発展、商工業であり、これは一番の重要課題だが、今、コロナでダメージをすごく受けている。まちの魅力については、今、空き地への誘致など、未来志向の展開をより推進してほしい。

(委員) 農地保全、生産緑地の件について、生産緑地の担い手がいない状況が続いている。体験農園を進めていただきたい。

(会長) 全市域が市街化区域になったとき、生産緑地がどんどん減っている状況下で緑地や農地をどう残していくかということは大きな課題であり、担い手の問題や生産緑地でできることなどを含めた表現をどこかに入れてはどうか。この10年の新しい視点というのは何か、この計画はどういう視点で立てていくのか。全体の大きな目標を設けて、その下にいろんな分野の基本計画が並んでいくことになるため、基本計

画を立てるときにこの総合計画が全体として、マネジメントできるような仕組みになっていたらいいい。

あと、都市目標は「人間都市・高石」で、「持続可能なまちづくり」ではない。都市目標とか構想とか計画とかある中で、いろんな用語が出てくるので、大きな視点、これから10年の視点とそこで必要な都市像と、それを実現するためにどういう方針でいくのかということが誤解のないような形で反映してほしい。

今後、基本計画や実施計画の段階で、総合計画でこういうことが書かれているから、実現しないといけないといったことが、関係者の方々に見えるようにしてほしいと思うので、配慮してほしい。

それから、まちづくり目標の2は、地域包括ケアなど介護色が強い。コロナについては、SARSやMERSのときも、日本はあまり被害を受けていなかったのも、検査体制などが不十分のままだった。一方で、合理化を進めるという国の方針もあり、保健所が減らされた。あまりにも合理化が進み過ぎると、いざというときに対応できない。これは阪神・淡路大震災後にリダンダンシーという言葉が出てきて、冗長とか無駄ということだが、そういう余裕を持たさないと、いざというときに対応できないということを学んだ。もちろん、選択と集中とあるので、財源が厳しい中でいろんなことが全てできるわけではないが、そういう中で本市が掲げる目標を達成していくためには、どういうふう to 実施していくのかが見えるといい。満遍なく書いてあると、公平ではあるが、特色に欠けるかもしれないし、財源的に実施計画までいくことが難しいかもしれない。その裏づけとして市民の皆さんのご意見等を活用されると良いと思う。

本市は、非常に面積も狭く、人口も6万弱、立地適正化も市だけでは難しい。主要駅の連携するような広域の計画を立てていかないといけない。本市も、消防は堺で、子育てウェルカムステーションは、高石市民だけでなく、もっと広く使ってもらったほうがいいかもしれない。そういう子育ての拠点として高石が機能するということも考えられる。高石の中だけでなく、もう少し広い範囲の中で高石が果たすべき役割や、そこで高石が発展できる機能を充実させるという面もある。委員も言っていたが、この10年間で高石がそういうところに力を入れて、そこで地域に貢献するという考え方もあると思う。そうすると、基幹病院や保健所もない。そういうことで、ほかの市と連携しながら対応していかないといけない。それは盛り込めないが、市の中に全部整備するのではなく、市町村間の連携の中、先ほどの関係人口、交流人口という観点からも、機能分担等の連携という中で反映していけるということが見えることが大事だと思う。だから、そういうことがもう少し見えるような形にするとよいと思う。

タイトなスケジュールなので、事前に個別に各委員のご意見をいただいて、会議の

中でご紹介いただいて、審議するという進め方が必要だと思う。

委員におかれては、改めて事務局に電話、メール等でご意見を出していただいて、次回の会議の冒頭にはそれをご紹介いただいた上で、それを反映した案を示していただき、改めて皆さんにご意見をいただくという形で進めさせていただきたい。

(委員) 過去の１０年間と、これからの１０年間は、非常に速度が違うと思う。その中でやはりデジタル化という形、教育や情報の共有がものすごく変わってくると思うので、その内容について、高石独自で総合的な戦略を含めてどういう計画にするか。この１０年間で都市間競争が非常に厳しくなってくると思う。人口動態の部分を含めて、高石に住んでメリットはあるのかなという情報交換を住民がしていくと思うので、やはりその点を含めると、高石に産科がないという部分に対してどうするのか。子育てをする上で共働きが多い社会という中で、保育所の状態が、待機児童がゼロと言われながら、これからもそれを続けるのかというような部分を含め、具体的な部分をもう少し議論していけたらと思う。

(会長) 具体の施策展開に至ることが可能な全体計画になっているかどうかが大変なことご理解いただきたい。

恐縮だが、ご意見等については事務局にお知らせいただいて、その上でもう一度事務局から説明または意見聴取していただき、次回にそれを反映していただくという形にさせていただきたいと思うが、よろしいか。

(事務局) 承知した。

【正午閉会】